

# 鶴岡市文化会館（荘銀タクト鶴岡）財務書類について

令和4(2022)年 7月

このレポートは、鶴岡市文化会館（荘銀タクト鶴岡）のオープン3年目にあたる令和2(2020)年度の財務状況について、民間企業会計の手法にならない、総務省が定めた「統一的な基準による地方公会計制度」（新公会計制度）に基づいて作成した財務書類の概要をお伝えするものです。

これまでの官庁会計による決算だけではわかりにくい資産・負債などのストック情報や、減価償却費等を加えたコスト情報を明確にすることで、市民の皆さんへの説明責任の充実や、マネジメントの強化を今後も図ってまいります。

## 1 施設の概要



荘銀タクト鶴岡（鶴岡市文化会館）大ホール  
（写真提供 鶴岡市教育委員会）

### 【施設の名称】

荘銀タクト鶴岡（鶴岡市文化会館）  
ネーミングライツパートナーを(株)荘内銀行とし、通称を「荘銀タクト鶴岡」としています。

### 【土地や建物】

- 敷地面積：13,096.84㎡
- 建築面積：5,756.35㎡
- 延床面積：7,846.12㎡
- 構造：鉄骨造、鉄筋コンクリート造、杭基礎
- 整備総事業費：96億7,600万円

### 【建物内の設備】

- 客席数 大ホール：固定1,120席、多目的鑑賞室：15席
- 貸室 小ホール、練習室、会議室、楽屋、託児室

### 【開設の時期】

- グランドオープン 平成30年(2018)年4月

## 2 施設の稼働状況 令和2(2020)年度

### 【自主事業】

- 開催事業：10件（前年度14件）  
事業内容：右表のとおり
- 入場者合計 2,347人（前年度12,672人）

### 【貸館事業】

- 利用件数：168件（前年度147件）  
主な利用：市内小中学校の合同音楽会や、高校吹奏楽部の演奏会、などの市民利用
- 利用者合計 39,613人（前年度60,274人）

### 【その他】

- 市民サポーター登録者数：42名

事業名	実施年月日	入場者数 (人)
タクト探検隊♪舞台のおしごと	R2.9.19	33
ワンコインコンサートVol.1 金管五重奏コンサート	R2.10.16	160
ワンコインコンサートVol.2 ジャズデュオコンサート	R2.11.2	250
ダンスワークショップ	R2.11.16	17
ダンスアウトリーチ	R2.11.17	28
ワンコインコンサートVol.3 バリトンリサイタル	R2.12.17	150
タクトでつなぐ第2回ピアノリレーコンサート	R2.12.26-27	295
三浦文彰ヴァイオリン・リサイタル	R3.2.23	254
公共ホール現代ダンス活性化事業Bプログラム	R3.3.5-7 R3.3.24-29	210
山形交響楽団庄内定期演奏会 第29回鶴岡公演	R3.3.30	950

令和2年度は、4～5月にかけて臨時休館するなど、年間を通して新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、入場者・利用者が大きく落ち込み、施設の稼働状況は前年度を下回る結果となりました。

資産と負債 (賃借対照表)

<b>資産</b> 85億9,400万円 (前年度 88億900万円)  主な内訳 ●土地 2億2,600万円 ●建物等 83億2,300万円 ●物品等 4,500万円	<b>負債</b> 60億5,800万円 (前年度 66億2,400万円)  主な内訳 ●建設費に充てた市債 60億1,700万円
<b>純資産</b> 25億3,600万円 (前年度 21億8,500万円)	

令和3(2021)年3月31日現在

【資産について】

土地建物や物品(ピアノや緞帳、舞台道具)など、事業用の固定資産が、その大半を占めています。

【負債について】

建設費に充てた市債の償還残高が、その大半を占めています。

【純資産について】

資産と負債の差であり、債務なく将来世代へと引き継がれる、純粋な市民の資産にあたります。

【参考指標】  
市民一人当たりの  
資産と負債

<b>資産</b> 69,787円 (前年70,644円)	<b>負債</b> 49,193円 (前年53,122円)
<b>純資産</b> 20,594円 (前年17,522円)	

鶴岡市の人口  
123,146人  
(令和3(2021)年3月31日現在 住民基本台帳)

【参考指標】

**有形固定資産減価償却率 7.4%** (前年度5.0%)  
～耐用年数に対してどのくらい老朽化が進んでいるか

算式：減価償却累計額/有形固定資産(土地等の非償却資産除く)+減価償却累計額

➤建物の耐用年数は、財務書類の作成基準上、50年と設定されています。竣工から間もないため低水準ですが、減価償却が進むことで、今後徐々に上昇していきます。

➤今後の見通し

資産は、建物や物品の減価償却が進むことで徐々に減となりますが、負債についても、市債が15年間で償還されていく予定であることから、それを上回る早さで減となることが見込まれます。

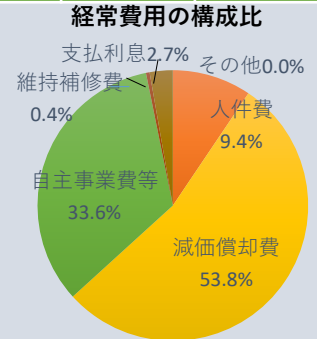
この結果、純資産の形成が進むこととなりますが、建物や設備の経年劣化に計画的に対応し、市民の資産としての価値を保つために、適切に維持補修を図ってまいります。

費用と収益 (行政コスト計算書)

科目名	金額(千円)	前年度(千円)
<b>経常費用</b>	<b>408,454</b>	<b>434,042</b>
人件費 運営にあたる職員の給与等	38,538	49,511
物件費等 減価償却費や自主事業費等	358,672	372,272
支払利息 建設費に充てた市債の利払い	11,206	12,208
その他	38	51
<b>経常収益</b>	<b>18,663</b>	<b>48,437</b>
使用料 貸館収入等	11,993	16,121
その他 自主事業の入場料収入等	6,670	32,316
<b>純経常行政コスト (経常費用－経常収益)</b>	<b>389,791</b>	<b>385,605</b>
臨時損失 災害復旧事業費など	-	-
臨時利益 資産売却益など	-	-
<b>純行政コスト</b>	<b>389,791</b>	<b>385,605</b>

【経常費用について】

人件費は配置職員の減員等から、前年度から1,100万円減少した他、自主事業(公演など)開催のための経費などは前年比約1,400万円減少し1億3,700万円となっています。



【経常収益について】

コロナ禍により、年度通して利用が低調で収入が大きく減少し、前年比で約3,000万円減少しています。

【純行政コストについて】

経常収支と臨時収支の合計額で、文化会館の運営にあたり、市が負担しているコストにあたります。

【参考指標】

**市民一人当たりのコスト 3,165円** (前年度3,092円)

算式：純行政コスト/住民基本台帳人口(123,146人※)  
※令和3(2021)年3月31日現在

【参考指標】

**受益者負担比率 4.6%** (前年度11.2%)  
～費用はどのくらい収益でまかなわれているか

算式：経常収益/経常費用

➤今後の見通し

令和3(2021)年度から指定管理委託による運営に移行しました。経常収支の改善、純行政コストの削減など、運営のさらなる効率化を図ってまいります。